

(参考様式3)

会 議 録

| | | | | |
|---|---|--------------|------|---|
| 会議の名称 | 第20期第6回東村山市立公民館運営審議会 | | | |
| 開催日時 | 令和元年10月7日 午後6:00～午後8:00 | | | |
| 開催場所 | 中央公民館 第3集会室 | | | |
| 出席者及び欠席者 | ●出席者： (委員) 村上会長、佐藤副会長、岩松委員、角町委員、森山委員、渡邊委員、永吉委員、杉山委員、小山委員 (市事務局) 服部館長、鈴木館長補佐、半井萩山地区館長、當間秋津地区館長、町田富士見地区館長、小山廻田地区館長、川嶋事業係長、松山主任 ●欠席 栗原委員 | | | |
| 傍聴の可否 | 可 | 傍聴不可の場合はその理由 | 傍聴者数 | 0 |
| 会議次第 | 1. あいさつ 2. 審議事項 (1) 利用者の利便性を高める取り組み ・廻田公民館の利用率向上に向けての取り組み ・その他 3. 報告事項 (1) 公民館 主催事業及び講座報告 (2) 公民館利用人数等の報告 (3) 市民文化祭予定 (4) 臨時避難所について 4. その他 (1) 次回日程について | | | |
| 問い合わせ先 | 教育部公民館 担当者名 松山 電話番号 042-395-7511 ファクス番号 042-395-7515 | | | |
| 会 議 経 過 | | | | |
| 1. あいさつ ・開会に際して公民館長よりあいさつ 2. 審議事項 | | | | |

(1) 利用者の利便性を高める取り組み

【館長補佐】

利用者の人数であるとか利用率だけではないという言葉をいただいているほか、議会や予算の特別委員会で公民館のことが話題に出ており、よくやっているという言葉もいただいている。しかし、それに甘んじられないので、いくつか公民館はこのようなことをやっているということを説明していきます。

まず廻田公民館を例に説明しますので意見をいただければと思います。

それと報告事項になります。来年度の市民講座の募集が始まることを、報告をしていきます。

まず、事務報告の資料ですが、最初の部分には公民館運営審議会の報告があり、次に公民館で行われた平成30年度の各講座、このようなことをしたということがまとめて記載してあります。その後ろに利用人数と部屋の利用率が出ています。中央公民館から各地区館の順に載っています。

まず、中央公民館ですが、利用率は全体では59%ということで、60%近い利用があります。ただ、それぞれの部屋を見ていくと、料理教室の夜間の利用が10%になっている。この利用率については気になっているところです。施設の利用の緩和ということを公民館運営審議会第19期で進めてきた。保育室などでは、空手の練習、ヨガなどいろいろなことが行われ少しずつ利用率は全体的に伸びてきている。しかし料理教室の夜間の部分で利用率が少ないため、今後利用者と部屋のマッチングが出来ればよいということはある。

市では企業などから、提案型の企画の相談を受けている。例えば東村山市内の居酒屋からも相談を受け、例えば魚のさばき方などは教えられるという話でした。私どもが考えていなかったような連携がしていければ、それが結果的に利用者の利便性を高めることに繋がると思います。

次に事務報告の廻田公民館最後のページですが、廻田公民館の来館者数と利用者数は相対的に低くなっている。地域の高齢化などが背景にあるのだろうか。陶芸窯の利用は多いものの保育室などは3.5%と利用率が低いことが気になっている。全体でも利用率20%です。オカリナ、太極拳のサークルなども目にするものの、他館から比較するともう一工夫必要だと感じる。そのため積極的に2年くらい前からいろいろな取り組みをしています。それについては廻田公民館長からお話しさせていただければと思います。ご意見等いただければと思います。

【廻田公民館長】

資料6をご覧ください。廻田公民館では地域の公民館として、地域のみなさんの活動場所として、学びの館として、地域に密着した施設となるよう努めてきた。2年前の利用者懇談会において利用団体の皆さまから、昔は市民文化祭で子供たちが歌ったり踊ったりしてとても活気があったのだけれども、最近は参加者も少なく、寂しいという声が寄せられました。廻田公民館として活気のある施設というのが課題と感じました。2年前の利用者懇談会を受けて、廻田公民館では市民文化祭で多くの団体が参加していただけるようお知らせを配布すると同時に、声掛けを行い、その結果ホールでのキッズダンスの発表等多くの出演をいただける、活気のある文化祭に去年はなった。これを契機に今年度も資料6のように取り組んでいる。

そちらを述べますと、昨年市民文化祭での反響がよかった点から、交換ボックスに文化祭のチラシを入れて参加を呼び掛けている。また、利用者懇談会の開催時にも

各サークル団体に参加を呼び掛けている。

利用者懇談会の意見を受けまして、廻田公民館に登録している団体につきまして、情報公開を希望しているサークルを対象にポスター作りを行っている。また、狭山公園に近いという地の利を生かして、来年度講座を企画していきたいと考えている。

9月の台風15号のとき、災害時の対応として避難所を開設し、帰宅困難者や単身者の一時避難所として地域に貢献した。

以上のような取り組みをしている。

【会長】

ありがとうございました。今、廻田公民館長からありましたように、公民館の利用者の利便性を高めるということで話があった。これについてなにかありますか。

【館長補佐】

少し補足をさせていただく。他の市ですと公民館祭りというものが割と多く、それぞれの公民館ごとに利用団体が集まって行うが、東村山市では中央公民館が出来る前から市民文化祭という形で文化団体等の集いを行ってきた。そして公民館が出来たら公民館を会場にするということが続いている。廻田公民館の場合は2年前の利用者懇談会で文化祭の参加者の少なさについて意見が出された。前はもっと賑やかであった、どうかしてほしいという要望があった。それを受けての取り組みです。

【会長】

なにかありますかでしょうか。

【委員】

狭山公園とも一緒になにかを企画したいというお話、ありがとうございます。どのような企画をお考えか？

【廻田公民館長】

まだ構想を練っている段階です。

【委員】

狭山公園では気軽に参加する雑木林手入れ、ロープを使ったツリーイングということをやっていますが、いかがでしょうか。

【館長補佐】

イメージしているのが、事業係と詰めていかななくてはいけないという段階ではあるが、プロのネイチャリストの方をお呼びし、自然についての講習会をしていただき、その講習会をうけて自然観察会をするというようなものです。そういったことで狭山公園との連携が出来るのではないかとこのころがあります。

また、郷土資料などを含めて公民館で座学をして、地域でのフィールドワークなどを行えたらと思っています。イメージの段階ではありますが、そのようなことを考えている。

【委員】

座学を室内で行い、それをもとに現場に出かけるということですね。

【館長補佐】

そのようなものがよいかと、一案としてあります。

【委員】

自然好きにもいろいろいますので、こちらと違った観点の企画はウェルカムです。雑木林の手入れの話になりますが、雑木林のことを座学で学びながら現場で作業をするというようなプログラムがあります。そのような企画での連携などはよいかと思いますので、ご相談させていただければと思う。

【館長補佐】

富士見公民館の利用団体では、東村山中央公園で冒険遊び場ということをしているかたもいらっしゃいます。そのような方との連携など、構想としては様々なことが考えられる。それをどう実現可能なものに落とし込んでいくかということだと思う。

【委員】

私は以前に東村山中央公園で勤務していましたので、冒険遊び場のことも存じています。それが狭山公園でもできれば楽しいことだと思います。ぜひ、よろしくお願ひしたい。

【会長】

ほかになにか。

【委員】

いま、お話を聞いていて、なにも決まってないからこそ、興味のある市民の方がいたら一緒に何がしたいかというところから考えてみるのもよい。そうすると市民の方がやりたいことに近づいていくと思う。地域の自然を知って、それを守ってくれる人たちを長い目で見れば作っていくということになると思う。そういうことはよいことだと思う。なにをするか固まっていなければ、話の場を設けてみるとよいと思う。

【会長】

狭山公園についてはこれからどうしていくべきかという話が出ました。資料6について他に話はありませんか。

【委員】

資料6の1、2、3から利用者を増やしていこうというイメージは感じるのですが、あくまでもこれは公民館に来ている方を対象にしている印象を受けました。それ以外にせつかく廻田町・多摩湖町・野口町に近い廻田公民館ですので、地域の公民館には行ったことがない人にも呼び掛けられるようなアイデアがあるといいと思います。実は去年廻田公民館を利用したのですが、廻田の歴史を紹介したのですが、野口町の人に廻田町の歴史の話をするとはそれは廻田町の話ですねという風に捉えられてしまいました。そうではなく東村山の西口方面には1300年、2000年前からの歴史がある町である、そういった話をするとは、東村山はそんなに凄かったのかという反響がありました。史跡が出ているという話をするとは、それがどこにあるかという興味も惹きました。そういったことはふるさと歴史館の話になってくるかと思いますが、公民館でやるにはどうしたらよいか。そうすると地区を絞って、多摩湖町の歴史、廻田町の歴史、野口町3丁目の歴史というようなふうにすると、公民館でも出来るのかと思

います。そのようなイメージがあり去年初めて廻田公民館で多摩湖町・廻田町の方を対象に廻田の歴史のお話をさせていただきました。それなりに反応がありまして、多摩湖町の西武園駅周辺の住宅地の方、昭和40年代以降に引っ越してこられた方などは、そのような古い歴史があったのかと大変驚かれる方が大勢いらっしゃいました。東村山の歴史をまだ知らない市民がいらっしゃいますので、廻田公民館でなにかやっているということを知らせるアクションがあれば、まだまだ利用者が来てもらえるのではないかと思います。もちろん資料6の1、2、3の取り組みも積極的に行っていたきたいというのがありますが。

【会長】

ありがとうございました。ほかになにか。

【委員】

避難所というところで、時々立川の防災センターの期限切れの非常食を、そこから施設などを經由し50食分などというようにもらうことがあります。五目御飯であったりです。それをサバイバル的にみんなで作って食べるというようなことをしています。消費期限が切れる少し前にそのようなものは来ますので、それを上手に使って避難所で食べてみるとか、防災の方をそのときお呼びするという企画を年に何回かしてみると、費用もあまりかからず、いざというときに公民館に來ればと、いうことに繋がっていいと思う。

【館長補佐】

実は廻田公民館は常設の避難所ではないということがある。東村山市の防災計画では廻田公民館は避難所の扱いにならない。廻田公民館が臨時避難所になるのは今年2度ありました。台風15号のときと、廻田町が2400世帯停電になったとき近くに避難所がないので臨時避難所になった。台風15号のときにはひとりであるのが怖いという方がいらした。ここへ来れば安心できるという施設になっているのかなと思う。そういった意味では貢献できているのではないかと思います。

【委員】

避難所はどこかと聞かれたときに公式にご案内してもよいのでしょうか。

【館長補佐】

防災ナビ、防災無線等で周知が流れますが、確認の上となります。

【会長】

中央公民館も地区館も同様の対応をするのですか。

【館長補佐】

廻田町は前川などに氾濫する場所があります。秋津町の秋水園だと秋水園ふれあいセンターがあります。柳瀬川の近くだとそういうのがあったりします。

廻田町周辺ですとどうしても廻田公民館、ふるさと歴史館、多摩湖町ふれあいセンターしかなく、水があふれたりします。武蔵大和駅の近くで西武線の線路が土に埋まったといったこともあります。そういったこともあり廻田公民館が臨時避難所になるという事情があります。

【委員】

備蓄や、いざというときの備えはありますか。

【館長補佐】

それはありません。

【公民館長】

この間は防災安全課のほうからクラッカーを持ってきてもらい対応しました。備蓄はないのでその都度持ってきてもらいます。毛布も持ってきてもらいました。

【委員】

廻田公民館の誰かが泊まり込みをするのですか。

【公民館長】

当番で行います。

【委員】

大規模な災害があったときはどうなるのですか。

【公民館長】

廻田小学校が避難所になり対応します。

【委員】

この前に防災会議に出席したのですが、廻田小学校では生徒たちの2日分の備蓄があるけれども、よそからの分については余力があまりないという印象を私見ですが受けました。

【公民館長】

公民館は300日強、朝9時から夜10時まで開いていますので、開館時に大規模な災害に当たる可能性は高いと思っています。お客様に来館いただいているときに大規模な災害が起これば、当然対応をし、お客様の身の安全を守るということは生じると思います。

【委員】

本来的な避難所となるとどこになるのでしょうか。

【公民館長】

廻田小学校や、第四中学校になります。大規模な災害を想定した場合そうなります。そこまでいかないゲリラ豪雨のような場合、溢れやすい前川の対応、といったことで廻田公民館に臨時避難所が開設されます。ここが避難所であるにご案内いただいた場合、常に大雨が降れば避難所になるというわけでもございませんので、そこがちょっと難しいところです。

【委員】

開設しますというお知らせは出るのですね。そのうえでご案内はしてよいのですね。

【公民館長】

はい。

【委員】

防災ナビに登録しておくとは防災無線で何を言ったのか見られるのでよいとおもいます。

【委員】

狭山公園の方が防災ナビに登録をしておくというのはよいですね。

【委員】

狭山公園に来てくれた方々向けに、地域の防災マップというものを検討しています。そういった意味で公民館との連携というのはどういったものがあるかと思い、こういった質問させていただきました。

【委員】

防災や災害の話から引き続いてお話を伺います。利用率の問題よりも前に、地域になにかあった時の施設として公民館は重要な施設であるというのがいまのお話からとてもよく分かりました。今年2回も開設されているということで、防災、なにかあった時の施設として公民館がとても大切な役目をしているということが分かりました。ひとりであるのが不安だという方が避難するほど地域の人にとっては身近な施設なのだなというのはいまのお話から分かりました。そこに水が出て浸水するというような施設であると難しいでしょうが、市の防災の施設として重要なものとして、それなりの備蓄も置いてもらってもよいのではないかと思いました。資材を運んでこられなかったら、毛布もない、クラッカーもないということになりますし、大事な施設なのだというようなことも伝えていいような気がしました。指定管理者制度などにしていると、私たちは避難所開設が出来ないので出て行って下さいということになります。そこで直接市がやっているというのはとても意味があって、開設したら館長さんがいてくれるというのがとても意味のあることだと思います。そこで判断の出来る館長が、職員がいるというのは意味があると思います。台風15号をうけて千葉の避難所になっている公民館に行ってきたのですが、停電と水がない、うちわや塩飴が置いてあってという状況で公民館に避難されている方々がいました。そこは避難所でしたので、公民館職員と応援の人により24時間体制で開けていました。大変であると思いました。

君津に行ったのですが、他の公民館ではキャンプをやっていました。公民館を避難所として、実際に停電や水がない状態で泊まるという訓練をたまたま一昨年くらいから2回やっていました。さすがにクーラーはつけたらしいのですが、水がない中でトイレはどうするかなど、公民館の事業として実際にやってみたといいです。それが今回役立ってしまったのではないかと思いました。そのようなことを思い出しました。認知症カフェも週1回か月1回やっていて、認知症の人もしそこに来たことがあるところにも避難するということがあったらとても意味があるなと思いました。このように君津の公民館を見て思ったことがあります。

廻田公民館長の話は利用者懇談会の話がここまで及ぶのだと面白く聞かせていただきました。利用者懇談会は公民館の要望を聞くところですがとおっしゃっていたのですが、実は利用者懇談会はお互いの活動を知る場にもなるので、いらした方が公民館になにかを言うだけでなく、サークル同士お互いに話す時間を作ると役立つこともある

と、他の公民館の利用者懇談会に参加して思いました。

利用率が低い保育室の話ですが、3.5%でしたでしょうか。本来的に保育室がある意味は保育をしないと学習が出来ない人のために保育室があるので、低くてもいたしかたないというのを前の辻先生がいらしたときにも言っていたのでその通りだと思うのですが、そもそも保育室の利用率を上げるには保育室以外に利用するか、そもそも保育室を利用する人たちがここに住んでいるのか、もしくは住んでいる人の中で使いたい人がいるのだけれども情報が届いていないのか、そこらへんはどうなのであろうかと思いました。他市だと外国人の親子のための相談ということをするのもあって、そうすると層がまた広がる、違う層の方が来たりするので、利用率を上げるためというわけではありませんが、情報が伝わってない方がいるのかもしれない、日本語で市報などに載っているだけでは伝わらない人たちに伝えていくとまた広がるのかなという気がします。

【会長】

いまの取り組みについて非常に私は評価出来ると思いますし、これをほかの公民館でも上手に考えていく必要があるのかなと思います。中央公民館は60%近い利用率がありますが、全体的に見たときに各地区館も含めこれはどうなのでしょう。

【公民館長】

廻田公民館がどうしてもクローズアップされるのですが、過去には40%台と利用率が高い時期があり、なんとかそれに近づけていきたいという思いがあります。過去それぐらいあったわけで、達成不可能な数字ではないと考えています。

【委員】

どのような時期に高かったのですか。廻田公民館だけその時期高かったのですか。

【公民館長】

ほかの公民館も高かったです。

【会長】

では次に入りたいと思います。審議事項のその他は特にございませんか。

【館長補佐】

はい。

【会長】

では報告事項、事業係長お願いします。

3. 報告事項

(1) 公民館 主催事業及び講座報告

【事業係長】

よろしくお願いたします。資料1です。7月から9月の事業の報告をします。

まず、「はじめての俳句」。7月3日から7月24日に行い、15名の定員に39名の応募がありました。先生の目の行き届く範囲ということで、受講者を15名とさせていただきます。平均年齢は70歳です。俳人協会会員の大原先生をお招きしまし

て開催いたしました。最近ではテレビなどの影響がありますので、応募もかなり多かったと思います。俳句と川柳の違いや季語の使い方、俳句の基礎を学びました。終わった後に俳句のサークルの立ち上げの話もあったのですが、講師をしてくださった先生の体調の都合もあり立ち消えとなってしまいました。

続きまして「住むまちを知る」。30名の定員のところに28名の応募があり、平均年齢は75.6歳となっています。講師は東村山郷土研究会の会長であります、大井先生をお招きし、最初に秋津公民館、続いて萩山公民館、今日は第3弾として廻田公民館で開催いたしました。廻田町を中心とした歴史と文化を学びました。大井先生のほうから廻田の全体的な歴史と文化について学びました。3回目にはまち歩きということで廻田町を散策いたしまして、みなさまが知らなかったようなことを目にして、廻田町にはこんな場所があったのかという驚きがありました。当日天気が悪かったため参加者は12名でした。

続きまして「シニア学級 目指せ！幸齢者」。これは会長にも講師をお願いいたしまして5回の開催となっております。30名の定員のところ、46名の応募がありました。非常に人気でしたので30名の定員のところ、部屋の広さ目いっぱいの40名で行いました。お客様からすれば少し狭いということがあるかもしれませんが、応募者が多かった為40名にさせていただきました。平均年齢は73.1歳。この講座はまだ現在開催中です。明日も会長のお話があります。まだこれから3回残しています。会長には悠久の漢字のお話をさせていただき、好評で大盛況となりました。

続きまして「生活雑貨を作ろう」。これはいま現在進行中なのですが、木工の先生をお呼びしまして、木工で一輪挿しを作りました。こちらは定員30名に対し応募が少なかったのですが、10名で行いました。平均年齢は58.4歳でした。

続きまして単発講座です。「夏休み映画会」。7月23日から7月26日に行いました。7月の後半でも授業がある学校がかなりあり、入場者数が少なかったので、来年度は学校の授業のほうも早めに確認し、なるべく多くのお子さんが来る日にしたいと思います。

続きまして「夏休み親子バス見学」です。8月20日に開催いたしました。11組27名の定員でしたが、19組44名の方が応募されました。バスで行きますのでどうしても定員があります。当日は12組26名の参加となりました。茨城県つくば市にあります食と農の科学館と、国土地理院の地図と測量の科学館へ見学に行きました。日本の農業と食に関連した新しい研究成果や、技術と地図と測量に関する歴史、原理や仕組みの様子をガイド付きで案内していただき、体感できる機会を提供することで、児童の科学的な好奇心を持つことを目的に実施いたしました。

続きまして「おもしろ科学あそび」です。8月23日に実施いたしました。こちらも人気のある講座です。毎年行っています。25名の定員のところ、43名の応募がありました。こちらも先生に相談しましたところ、やはり先生の指導が行き届く範囲ということで25名にさせていただきました。今年のテーマは紫外線について学ぶ講座として開催しました。紫外線が日常生活で利用されていることを知ると、小学生たちは集中して話に聞き入っておりました。ブラックライトで実験をしたのですが、お札やクレジットカード、パスポート、UVクリームなどを使って紫外線の活用を勉強しました。子どもたちもいろいろなものにUV、紫外線が活用されていることに驚いておりました。

「笑顔あふれるまち土曜寄席 in 廻田」。定員が70名のところ68名の来場者でした。若手の真打の瀧川鯉斗さんという方が今回廻田寄席にいらっしやいまして、非常に人気のある方で、若い女性のお客様が多かったです。

続きまして知的障害者青年学級、かめのご学級です。「リアル野球盤」を7月7日に開催いたしました。今年度初めての企画としまして、市民参加を取り入れています。障害を一般の市民の方にも知っていただいて、理解していただくということで市民の方にも参加していただいています。今回は9名の市民の方に参加していただきました。リアル野球盤というのはゲームの野球盤の人間版というのでしょうか、テレビなどでもやっているのですが、実際人間が捕ったり走ったりということを市民の方と一緒にやって、かめのご学級の存在を知っていただくということで開催しました。学級生と触れ合う中で知的障害への理解が深まったのではないかと考えております。

続きまして「ハーバリウム」です。ハーバリウムは最近流行っているようでして、瓶の中に花卉や葉っぱ、枝などをいろいろ綺麗に積みまして、そこにオイルを注いでみるとキラキラして綺麗になります。フラワーデザイナーの講師を呼びまして、ハーバリウムに挑戦いたしました。この日は市民参加ではなく、来年度かめのご学級に入級したいという方が見学に来まして、一緒に見学させていただいて、様子を見ていただきました。

続きまして資料1裏面になります。10月から12月の予定になります。

現在「クラフトバンドで小物づくり」を募集しています。少し変わったところでは知的障害者青年学級かめのご学級で、ここでも見学可能ということで、市民参加を集いまして、「料理教室」と「お楽しみ会」は市民の方にもオープンにしていきたいと考えております。

ホール講演事業等では、昨日「東村山フレッシュコンサート」を開催しました。例年になく数のお客様がいらっしやいまして、お客様にも大盛況でこんなによいコンサートがあったのかと知らなかった方もいて、ほぼ満員になるくらいの方に入っていただきました。

続きまして、11月には萩山公民館で「笑顔あふれるまち土曜寄席 in 萩山」を開催いたします。

また、12月には自主公演事業を開催いたします。今年は子ども番組などで演奏をしている方々を呼びます。チケットは明日から発売となります。すでにかなり問い合わせが来ておりますので、こちらも席が満員近くになるのではないかと考えています。

続きまして、キッズ伝統芸能体験「三味線」。8月からやっております。東村山は三味線を体験していただくことになっています。合計で22名の小学生が毎週日曜日に稽古に来ておまして、12月に国立劇場で発表会が行われることになっています。

10月から12月の予定はこのようになっております。最後に来年度の市民講座のテーマ募集を11月1日の市報に載せる予定です。資料の2から5なのですが、このように市民講座の学習テーマを11月1日から11月29日で募集をいたします。案として添付しております、資料5になります。こちらは公民館運営審議会の先生方にもお願いすることですけれども、11月1日から11月29日で市民から上がってきたものを12月の中旬に市民講座ボランティアの方に集まってもらいまして振り分け作業をしたいと考えております。似たテーマが100くらい来るそうですので、同じようなテーマはひとつにまとめていく作業がございまして、その作業が終わったところで12月中旬ごろ仮にテーマを決定させていただきまして、次回の公民館運営審議会のときに先生方に一覧表を配布いたしますので、開催したほうがよいというものに先生方に丸をつけていただきます。それを送り返していただいて、2月の公民館運営審議会の時には決定をしていきたいと考えております。来年度は令和2年の4月から令和3年の3月を前期、中期、後期、とこのなかで講座を振り分けて開催していきたいと考えております。以上であります。

【会長】

いま、事業のことと、来年のテーマの募集までを説明していただきました。これについてなにかありますか。

【委員】

フレッシュコンサートが大好評であったということでしたが、今までにないアクションを行ったのですか。

【事業係長】

特別はないのですが、去年も出た方が今年も出演したということもあるかと思えます。また、出演した方が自分の仲間などを呼ぶためにかなりチケットを持っていかれていたほか、民間のPR誌に載せたり、駅にも張り紙をしました。

【委員】

チケットを私も2枚送っていただいたのですが、行けなかったので、地域の方にあげたらとても喜んでいました。

【事業係長】

若手の育成という意味も込められています。グレードの高いコンサートになったのではないかと思います。お客さんが帰らないで最後まで残っていました。

【会長】

最後まで残っているというのはなにかあったのでしょうか。気になります。

【事業係長】

レベルが高かったというのものもあるかもしれません。

【館長補佐】

事前の窓口でチケットやパンフレットを渡しているときの反応は、これに行きたい、観たいという声が強くなりました。中央公民館全体の利用者が増えたということで、こういうことが無料で見られるのであればぜひ行きたいという方が窓口に多くいらっしゃいました。お客様が多く来そうでしたので、こちらの受け入れ態勢も急遽見直しました。

【委員】

テレビ等メディアは来ましたか。

【事業係長】

来ませんでした。

【委員】

市民講座をこれから募集ということなのですが、来年7月と8月にオリンピック、パラリンピックがあると思います。それによる公民館事業の制約などはいまのところ出ていますか。

【事業係長】

制約はありませんが、市長のほうからオリンピックイヤーなので運動系、体育系のものをやってほしいという話がありました。ですから地区館で開催するものは運動系をしたいと思います。

【委員】

いままで公民館に来ていない人が来てみて、よい施設だと思ってもらうひとつのチャンスだと思います。

【委員】

2点あります。かめのご学級のことで2つ質問があります。以前新しい方がなかなか入ってこないという話をされました。今日はハーバリウムに入級したい方が来たという話がありました。どのようなきっかけで新しい方が来たのかということがひとつ。

あと、市民参加を前回聴いたときもされていて、そのときは1組の親子が参加されていたということでした。今回リアル野球盤に9人。とてもいいことだと思います。そこにどのような人が関わっていたのか気になります。市民の方も来てみてかめのご学級からなにか学べたか気になります。町田では学級生と参加者の間に入って繋ぐ担当者の方がいるのですが、東村山ではどのように行ったのでしょうか。

【事業係長】

学級生と市民の方が一緒にチームに入り行いました。同じチームで学級生と打順を交代で行っていただきました。走るのも一緒に走っていただきました。保健推進委員の方とか、福祉に関係のある方が多くいらっしゃったので関心があったのだと思います。

【委員】

かめのご学級を担う側には、担当の方がずっといらっしゃったのですか。

【事業係長】

はい。

【委員】

それを専門にやっている方が目を配っているということですか。

【事業係長】

指導員がおります。指導員は基本的に審判をしていました。また、チームのとりまとめもしました。自立を促す意味でも、学級生のかたにキャプテンになってもらって、打順決めなどは学級生に決めてもらいました。守備や交代などもそうです。

【委員】

指導員の方はやってみて、どのような感想を持っていましたか。

【事業係長】

いままではその中だけでやっていたのですが、市民の方に関心を持っていただくということは、新しい風が入ってくるという感じでした。

【委員】

そこからボランティアに入る人がいたりすると、新たにサイクルが回り始めると思います。

【事業係長】

市民参加出来るものは今後も続けていきたいと思います。

【委員】

続いていったら障害理解の講座なども出来そうだと思います。よい傾向だと思います。

【事業係長】

見学に来た方は、作業所に通っている方で、年齢は42歳なので体力がまだあり、作業所だけでは時間を余してしまうので、休日の余暇をかめのご学級で過ごしたいということでいらっしゃいました。あとは清瀬の特別支援学校に広報に行ったりしております。また、東京学芸大学にポスターを掲示させていただいています。

【会長】

それではいまのことでなにかありますか。では事業のほうはこれでよいですね。テーマのほうはどうでしょうか。

【事業係長】

次回、一覧表にして配りたいと思います。

(2) 公民館利用人数等の報告

【会長】

公民館の利用人数については先ほどの報告ということでよろしいですね。それでは市民文化祭の予定についてお願いします。

(3) 市民文化祭予定

(4) 臨時避難所について

【館長補佐】

資料を用意している間に、先に臨時避難所についてお話ししたいと思います。さきほど廻田公民館長のほうから話がありましたが、今年については2回臨時避難所を開設いたしました。1回は台風15号のとき、もう1回は雷が落ちて廻田町の2400世帯が停電になった9月11日です。

【公民館長】

ものすごい豪雨が夕方に降りまして停電になりました。

【館長補佐】

金山神社から向こうは信号が全部消えて大騒ぎになりました。臨時避難所を開設しに行こうとしたら大渋滞が起きていました。なにかあったときに市長のほうにも廻田公民館を臨時避難所にするというイメージがあるようで、こちらからも働きかけなくてはと思っています。

【会長】

臨時避難所についてですが、廻田公民館が主でやっていますが、これは日本のいまの状態から見れば災害についてはひと昔と違いますよね。そういうことを考えたときに小学校、中学校には防災倉庫もあるし、備蓄倉庫もあるからある程度は対応できるとしても、公共施設である公民館も全部含めて、市はなにか考えているのでしょうか。たとえば地震があつたときに備蓄がなにもなかったとしてもこの中央公民館に人は来ると思いますが。そういう話としてはなにかあるのでしょうか。

たとえばあきる野市などはかなり進んでいます。すべての施設をそういうようにしようとしています。

【公民館長】

正式な避難所になってはいないのですが、たとえば交通機関が動かず、帰宅困難者が駅前に溢れる、そういったときには、少なくとも鉄道が動き始めるまではお客様の安全を確保する責任はあると思っています。先ほども申し上げましたが、年間300日、朝から晩まで開館していますので、開館中に被災する確率は高いと思います。そういったことから、そのようなことは常々考えています。

【委員】

避難所として保育室もあって、和室もあるのは魅力だと思います。

【会長】

調理室もありますね。考えてみれば公民館という場所は無くすわけにはいかない施設ですね。改めて今日分りました。では市民文化祭についていきたいと思っています。

【館長補佐】

市民文化祭は実行委員会が主催し、社会教育課が担当しています。公民館は基本的には会場提供というかたちになるのですが、それだけではやはり済みませんので、たとえばホールで発表があればホールの打合せが必要です。明日も4時間ほど出演団体との打合せを行います。基本的に公民館で活動されている方たちが出演されていることが多いです。また、公民館は利用していないけれども地域のお祭りに出ている方なども多くいます。中央公民館がやはり多いのですが、他の地区館でもそういうかたちが出ています。特に廻田公民館でのホール部門の出演は、3年前から比べると非常に増えたと感じています。3年前はホール部門がありませんでした。展示についても今回3つありますが、それもよかったと思います。

【会長】

ありがとうございます。

4. その他

(1) 次回日程について

【会長】

今回は12月23日月曜日、18時より中央公民館にて開催いたします。本日は、ありがとうございました。